

マンチェスター大学の紹介

モリー・ハリソン



<https://oxfordroadcorridor.com/wp-content/uploads/2021/03/university-of-manchester.jpg>

マンチェスター大学はイギリス北東部のグレーター・マンチェスター郡のマンチェスター市にあります。マンチェスターはたくさん大学があるので、この都市は「学生の都市」とよく呼ばれています。マンチェスターはサッカーと音楽で知られていて、雨が多いことも有名です。さらに、1800年代初めにマンチェスターは世界で一番目の工業都市になりました。

まず、マンチェスター大学について、紹介します。マンチェスター大学は1824年に設立されて、色々な別の大学のビルがありました。2004年に、全部の大学のビルをまとめました。始めは、大学は「Victoria University」と呼ばれていて、その後で「UMIST」と呼ばれるようになりました。最近、マンチェスター大学は全部の学生と教員に「UOM」と呼ばれています。2020年には、学生数は、大学院生も入れると、全部で40,500人ぐらいでした。キャンパスは2つあります。北のキャンパスは「都市キャンパス」と呼ばれて、南キャンパスは「メイン・キャンパス」と呼ばれています。大半の大学のビルはメイン・キャンパスにあります。マンチェスター大学は市の中心に近いだけでなく、大切な2つの駅に近いです。

次に、大学の学部について、紹介します。2016年以来、大学は学部が3つあって、「生物学・医学・保健学部」と「理工学部」と「人文学部」です。いっぱいてきに、それぞれの学部のビルは別のキャンパスにあります。例えば、ほとんどの理工学部のビルは都市キャンパスにありますが、全部の人文学部ビルはメイン・キャンパスにあります。ふつう学部によってクラスが行われるビルが違います。例えば、言語専攻の学生のクラスはサムエル・アレクサンダーというビルの中で行われます。このビルは人文学部のビルです。でも、時々他の学部のビルの中でクラスが行われます。それは少しおかしいです。

それから、寮のキャンパスについて、紹介します。寮のキャンパスは3つあります。「都市キャンパス」と「ビクトリア・パーク・キャンパス」と「ファローフィールド・キャンパス」です。ファローフィールド・キャンパスは最大のキャンパスです。一年生の時、学生は大学の寮によく住んでいます。大学の寮は借りやすいですが、高すぎます。学生は毎週150ポンド以上(2万3千円ぐらい)払わなければいけません。ふつう、二年生になると、全部の学生は民間のアパートか家に引っ越します。それでも、大学の寮から大学のキャンパスまで通うほうが安いです。キャンパスで、学生のために、無料のバスがあって、毎日このバスは都市キャンパスからメイン・キャンパスまで行っています。大きい大学なので、市の中心と大学のキャンパスの間に、他にもたくさんバスがあります。

最後に、キャンパスの他の機能と私のおすすめを紹介します。マンチェスター大学はたくさん図書館があるので、十分な勉強する場所があります。大学で「AliG」が一番の勉強する場所とされています。「AliG」は24時間の図書館で、喫茶店があって、友達と一緒に勉強できる快適な部屋もあります。全部の大学の喫茶店は高いですが、おいしい食べ物があって色々な外国料理があるので、学生に人気があります。市の中心にも、外国料理のレストランがあります。市の中心に「China Town」が一番のレストランがあって、たくさんの色々な東アジアの料理を楽しめます。特に、留学生と外国語の学生に人気があります。私のおすすめは「Printworks」です。そこはマンチェスター市の中心で一番楽しい場所だと思います。そこにはパブがたくさんあるし、映画館やボウリングやミニ・ゴルフなどがあるし、それに安いです!

いつか、ぜひマンチェスター大学に来てください。

参考資料

https://en.wikipedia.org/wiki/University_of_Manchester [01/31/22]

<https://www.manchester.ac.uk> [マンチェスター大学のサイト]